

開催地名：徳島県上板町	
開催日時	令和2年11月26日(木) 18:30~20:00 27日(金) 14:00~15:30
開催場所	上板町技の館
語り部	菅野 和夫 (岩手県宮古市)
参加者	上板町自主防災組織連絡協議会、上板町防災士会、上板町職員 2日間で75名
開催経緯	当町では、近年、大規模災害が発生していないため、町職員、住民ともに災害対応についての経験が不足している。今回語り部を招き、震災についての体験談や教訓についてお話いただき、被災地(町全体、住民、職員)の様子や避難所の状況についての知識を得て、今後の本町の災害対応に役立てたい。
内容	<p>(1) 東日本大震災の被災地から</p> <p>私が住む岩手県宮古市は、陸中海岸国立公園の中心に位置する、風光明媚な海岸美が自慢の観光地であり、海産物の宝庫でもある。ところが、東日本大震災により景勝地の砂浜は地盤沈下し、漁船を始めとする水産設備は大きな被害を受けてしまった。震災後10年を経て、観光客を受け入れる体制や漁船等の水産設備も、全国からの温かいご支援によって整いつつあり、復興した観光業、水産業の再開に期待が膨らんでいるところである。</p> <p>我々は岩手県宮古市で上村町内自主防災会を設立した。私が会長に就いた平成19年当時、国の予測では宮城県沖地震の発生確率は、30年以内が99%であったが、平成23年1月になると10年以内が70%に高まった。危機感を覚えた我々は、地区連合会防災会議を平成23年3月11日の夜に予定していたが、奇しくも当日、東日本大震災は発生した。本日は東日本大震災時の体験談や教訓、災害に備える心構えをお話ししたい。</p> <p>(2) 避難所と避難場所について</p> <p>発災すると、人々はてんでんになってしまう。日中ならなおさら、その傾向が高まる。私自身も家族とてんでんばらばらになったが、夕方には再会でき、避難場所で指揮を執ることが出来た。当時はマニュアルも無く、臨機応変の対応であった。</p> <p>避難者を地元の避難所(小学校体育館)へ誘導するとともに、食べるものを調達しようとしたところ、「出せる食料はない」と言われた。避難所には500名分の乾パンしか用意されていなかったが、1,000名を超える避難者が押し寄せたのだ。すし詰め状態で余震の続く中、子ども連れのお母さん達が子供たちの泣き声や授乳場所もないことにより居づらくなっている状況や、けが人や透析患者、高齢者、津波から逃れたずぶ濡れの避難者の方々を目の当たりにすると、避難所の小学校体育館での滞在をあきらめざるを得なかった。我々は別の避難所(わむら</p>

公園)に引き返し、自主防災会の役員宅から食材をかき集め、避難解除(警報解除)までの3日間、僅かな食材をにわか造りのかまどで炊事しながら、他の避難者とともに飢えを凌いだ。

避難所に支援物資が届いたのは翌日早朝からであったが、我々の避難場所には届かなかったので、分けて頂いた。食料備蓄の重要性を改めて痛感した。避難所内の町内居住者把握についても務めたが、発災日当日は避難者名簿も完成していなかったため個々人の安否確認はできず、事前準備の不備を痛感した。また、すし詰め解消のために教室の開放を校長に進言したが、発災が金曜日だったため、教室開放の許可を取るために時間を要し、体育館避難者が開放され教室に入れたのは3日後であった。

(3) 最後に

今回の大震災を通して学んだことは、①避難てんでんこの重要性、②個々人の安否情報入手の必要性、③備蓄の重要性の3点である。

同じ体育館内でも、家族がてんでんばらばらの状況が散見された。それでも生きてさえいれば、いつかは再会できると思っていた。自分たちの命は自分たちで守るということを意識し、地域や家族それぞれに合った計画・話し合いを行って災害に備えてほしい。そして必要な情報を速やかに共有することで、無駄な労力や時間を減らすことができる。また、電話やメールに頼らない情報の入手方法を備えておくことも重要である。スムーズな情報の伝達により情報の共有がうまくできれば、発災時に混乱している避難所内も、そして家族も落ち着かせることができるはずだ。

日頃からの防災訓練や、避難所、想定外を考慮した避難場所での必要物資の確保等の事前準備の大切さはもちろん言うまでもない。防災とは、「過去に学び、未来に備える」ため実践に繋げていくものだと思う。ここに参加の皆さんには、特に強く認識していただきたい。



開催地より

メディアで東日本大震災の話を知ったり、見たりしてきたことが、10年経とうとしている現在、次第に記憶が薄れてきていることを痛感した。避けることのできない自然災害に対して、町民が防災意識を高めていけるような取り組みを考え、地道に展開していくことの必要性を改めて認識した。